

■LinuxMania インストールガイド補足 - SSD 利用時のパーティションについて

LinuxMania ではパフォーマンスの向上、並びに SSD を長くご使用いただけますよう、SSD と HDD のパーティションを以下の通りに設定することを推奨しております。

- ・ SSD : / (root 以下) を割り当て
- ・ HDD: スワップ領域 (※) と /home を割り当て

※スワップ領域は物理メモリの容量 × 2 を割りてます。

例) SSD 40GB、HDD 1TB、物理メモリ 16GB のパーティション

- ・ SSD : / → 40GB
- ・ HDD : スワップ領域 → 32GB、/home → 968GB

パーティション作成手順をご説明します

<< 夏目坂モデル、行人坂モデル (Fedora 14) のパーティション作成手順 >>
Fedora 14 インストールガイド 「11. パーティションの設定」に代わり、以下の操作を行います。



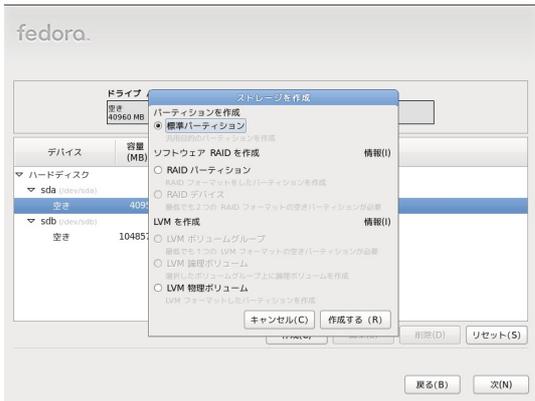
1.[カスタムレイアウトを作成する]を選択し、[次へ]ボタンを押します。



2.sda の空きを選択し、[作成]ボタンを押します。

※ あらかじめ /dev/sda が SSD、/dev/sdb が HDD となっていることを確認します。確認方法は、画面上の「ドライブ /dev/sda (XXXMB) (モデル: SSD モデル名)」の表示にて確認できます。

例)
SSD : ドライブ /dev/sda/ (XXX MB) (ATA INTEL SSDSA2M040)
HDD: ドライブ /dev/sdb/ (XXX MB) (ATA Hitachi HDS72302)

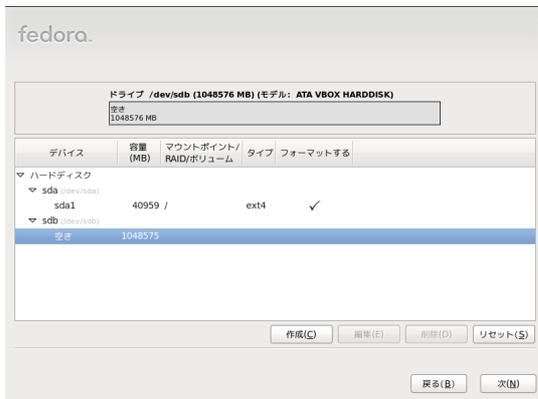


3.[標準パーティション]選択し[作成する]ボタンを押します。



4.以下の設定で、[OK]ボタンを押します。

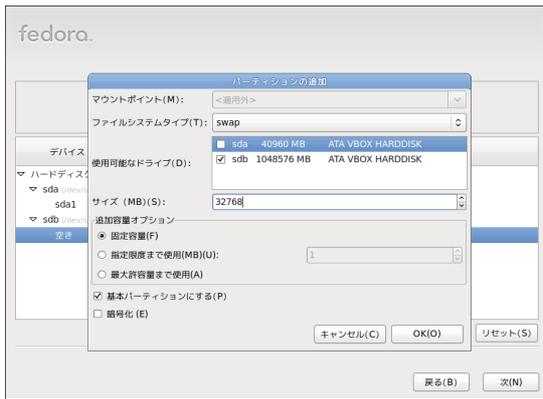
- ・マウントポイント：/
- ・ファイルシステムタイプ：ext4
- ・使用可能なドライブ：sda のみチェック
- ・サイズ：(変更不要)
- ・追加容量オプション：最大許容量まで使用
- ・基本パーティションにするにチェック



5.sdb の空きを選択し、[作成]ボタンを押します。



6.[標準パーティション]選択し[作成する]ボタンを押します。



7. 以下の設定で、[OK] ボタンを押します。

- ・ファイルシステムタイプ: swap
- ・使用可能なドライブ: sdb のみチェック
- ・サイズ: 物理メモリ × 2 の容量 (※)
- ・追加容量オプション: 固定容量
- ・基本パーティションにするにチェック

※ 物理メモリ毎のパーティションサイズ

2GB	→	4000
4GB	→	8000
8GB	→	16000
16GB	→	32000



8. sdb1 の下の空きを選択し、[作成] ボタンを押します。



9. [標準パーティション] 選択し [作成する] ボタンを押します。



10. 以下の設定で、[OK] ボタンを押します。

- ・マウントポイント: /home
- ・ファイルシステムタイプ: ext4
- ・使用可能なドライブ: sdb のみチェック
- ・サイズ: (変更不要)
- ・追加容量オプション: 最大許容量まで使用



11.[次へ] ボタンを押します。



12.[ブートローダを /dev/sda にインストールする] にチェックが入っていることを確認し、[次へ] ボタンを押します。

以降の操作は、Fedora 14 インストールガイド 「12. インストールパッケージの選択」からの続きとなります。